

第7回 日野川水害タイムライン検討会

令和4年12月1日(木)
国土交通省 日野川河川事務所 (13:30~16:00)

-次第-

- 1.開会挨拶
- 2.令和4年度の振り返り
- 3.事前アンケート結果について
- 4.日野川水害タイムラインの改善に向けた意見交換
- 5.今後の予定（タイムライン詳細版の意見照会）
- 6.その他（参画機関とマーリングリストアドレス登録アドレスの確認）
- 7.質疑応答
- 8.講評
- 9.閉会挨拶

令和4年度の出水対応について振り返り、日野川水害タイムラインのブラッシュアップを図ることを目的として、第7回検討会を開催しました。

◆参加機関

米子市	福祉施設
防災安全課、道路整備課、水道局	なんぶ幸朋苑、よなご大平園、博愛苑、米子ワークホーム
南部町	ライフライン
総務課	中国電力ネットワーク(株)、米子ガス(株)
鳥取県	報道機関
河川課、米子警察署、黒坂警察署、西部広域行政管理組合消防局	日本海テレビジョン放送(株)
気象庁 鳥取地方気象台	国土交通省
出席：18機関 23名	倉吉河川国道事務所、日野川河川事務所



◆令和4年度の振り返り

- 令和4年度のタイムライン発動状況と、全国の出水概要、タイムラインに関するトピック（気象庁による緊急記者会見など）を共有した。
- 令和4年度はタイムラインを計3回発動し、そのうち1回はレベル1に到達した。

＜タイムラインの発動状況＞

期間	要因	レベル到達
① 7/18	梅雨前線への警戒	準備
② 9/2~6	台風第11号の接近	準備
③ 9/16~20	台風第14号の接近	レベル1

◆事前アンケート結果

- 事前に関係機関に実施した、**令和4年度の出水対応や、タイムラインの活用状況・改善要望、情報提供システム活用状況・改善要望**に関するアンケート結果を共有した。
〈今年度における出水対応〉
 - 出水対応における**情報統制**が課題として挙げられた。
（タイムラインの活用状況及び改善要望）
 - タイムライン改善点として「**次段階のレベルに上がる目安時間の提供して欲しい**」、「**情報量が多い**」といった意見あり。
（日野川水害タイムライン情報提供システムの活用状況及び改善用法）
 - マルチ画面は「**画面が小さくなり見難い**」、「**スマートフォンで確認したい**」といった意見あり。

◆日野川水害タイムラインの改善に 向けた意見交換

- 事前アンケートで挙がった、**出水対応やタイムライン・システムに関する課題・改善要望**に対して意見交換を実施した。
〈意見交換テーマ〉
 - ① 情報統制について
 - ② タイムラインレベル発動・移行時の情報提供について
 - ③ タイムライン解説動画、学習サイトについて
 - ④ オンライン情報共有について（※1）
 - ⑤ マルチ画面お気に入り機能について（※2）

※1：タイムライン発動時に、オンラインで危機感や情報を共有する取組

※2：マルチ画面の画面レイアウト・表示する情報を機関毎にカスタマイズできる機能

＜タイムライン解説動画、学習サイト＞

タイムラインの理解促進や、担当者の引継ぎに使用できるツール

タイムラインとは？

タイムラインの効果が知りたい

タイムラインが対象とする災害は？

タイムラインと既存計画の関係が知りたい

＜意見交換で挙げられた主な意見＞

意見交換内容	主な意見
①情報統制において工夫していること	✓ 「情報班」を立ち上げて、必要な情報を取捨選択している。
②TLレベル発動・移行時の“次のメール発出予定”的情報提供について	✓ 次の行動に向けた意思決定・準備がしやすいため便利だと思う。
③TL解説動画、学習サイトは有効か	✓ 動画であれば引継ぎがしやすい。 ✓ 防災に関わったことが無い職員にもわかりやすいと思う。
④オンライン情報共有は有効か	✓ 台風説明会との重複や、防災対応の忙しさが懸念される。 ✓ 有効だと思うが、参加が難しい場合もある。
⑤マルチ画面お気に入り機能の拡充は有効か。スマートフォン版は必要か。	✓ お気に入り機能：機関毎に必要な情報は異なるため、便利だと思う。 ✓ スマートフォン版：現場でも閲覧しやすいため便利だと思う。

◆講評

今年度はタイムラインを3回発動し、幸いにも大規模な出水が発生しなかった。いつか発生する大規模な出水への備えとして、「実働的な訓練」ができたのではないか。

過去にはメールを見落として避難情報の発令が遅れた事例もある。情報の見落としが無いような工夫をタイムラインの取組みの中で進めて頂きたい。



鳥取大学 黒岩座長

◆まとめ

- 令和4年度の出水対応を踏まえたタイムラインの改善に向けて、**参加機関の意見**を確認することができた。
- 本検討会を踏まえ、**タイムラインの運用方法の改訂や各種ツールの追加・機能拡充、タイムライン詳細の修正（意見照会結果反映）**を行い、令和5年出水期の運用を目指す。